

優秀賞

住宅の部

～人通りの多い住環境にあって、
時と空間を孕んだ美しく快適な住まい～

建築主：T.M

設計：アトリエ24一級建築士事務所

施工：株式会社 佐久間工務店

所在地：千葉市花見川区

金柑の実る住まい



南側ファサードの昼景 木製格子戸を開いた状況とライトコートの様子。右側に移植した金柑の樹

本エリア(千葉市花見川)は人通りが多く雑多な住環境が進み、プライバシーの確保や開放性のある住居構成の実現が困難な状況にあった。施主と設計者は、金柑の木が象徴的だった既存の住宅に代わり、短期・長期の時の流れを受け入れられるような美しい空間構成の住まい(敷地面積：150.97㎡、木造2階建て、建築面積：78.46㎡、延べ面積：142.63㎡)を生み出した。そこでは、「ライトコート」を中心とする、昼夜光の豊かなプライバシーが確保された都市型住宅をデザインすることが大きな課題であった。金柑の木は過去の思い出として再びそこに植えられ、この住まいを象徴する名称として受け継ぐことになった。

住まい手は日々の暮らしの中で近隣との繋がり方、関わり方を気分と目的に合わせ、高めの天井高や開口部とともに自由に選択、調整することができる。そして、暮らしに楽しさや心地良さが与えられ、家の中だけではなく外の街へと染み出す。それに

加えて、将来の家族構成の変化に対応可能なつくりも、時系列に対応する工夫である。夕刻に拝見した住まいの佇まいと施主が示した高い満足度は、その実態をよく表していた。

また、高気密・高断熱の高い性能(Ua値：0.48W/㎡・K、C値：1.0c sn²/㎡)はもとより、施主の強い希望で薪ストーブを設置し、僅かな燃料で暖房が賄え、CO2排出削減と現代のエネルギー料金高騰対策に寄与している。審査ではこのような優れた都市型住宅のあり方が高く評価され、住宅部門での優秀賞を得ることになった。(岩村 和夫)



ライトコートからエントランスを見る(夕景)
3つの住まいの構成が見える



2階リビングからライトコート越しに
バルコニーを臨む(昼景)

(撮影全て/鈴木文人)